

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年 3月31日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分Ⅰ： 該当なし

区分Ⅱ： 該当なし

区分Ⅲ： 該当なし

その他： 5 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	原子炉建屋排気空調系シリンダー調節弁において、空気の漏えいが認められたため、当該箇所を点検・修理。 なお、空気漏えいの影響で閉方向に時間がかかっているが、これは原子炉建屋の負圧側の状態が長く続いている状態で、安全側であり影響はない。	GⅢ	3月24日
2	1号機	燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)出口弁において、シート部に漏えい(約1秒に1滴)が認められたため、当該弁を点検・修理。 なお、当該弁は通常「開」運用であり、燃料プール冷却浄化系の運転に影響はない。	GⅢ	3月25日
3	1・2号廃棄物処理設備	低電導度廃液系受ポンプ(A)(B)オールドレン配管において、2010年12月21日～2011年3月15日の配管撤去に伴う関係図書類改訂未反映(オールドレン配管、オールドレン弁が既に撤去されていた)が認められたため、当該図書類の改訂を実施。	GⅢ	3月27日
4	補助ボイラー	補助ボイラー(C)付属機器の社内管理上の点検期限は2021年3月までであるが、法令上の点検期限(2021年6月)まで補助ボイラー(C)を運転し廃液処理を行うため、マニュアルに定める技術評価を行い、2021年6月まで点検期限を延長。	GⅢ	3月29日
5	その他	2021年2月13日発生地震後の点検結果報告書において、記載事項の誤記が認められたため、当該箇所を訂正。 1号機:「漏えい検出系盤警報発生の有無」を「有」から「無」に訂正。 4号機:「漏えい検出系盤警報発生の有無」を「無」から「有」に訂正。 廃棄物処理設備:「火災発生の有無」を「有」から「無」に訂正。	GⅢ	3月26日